

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103177
法人名	株式会社モロコケア
事業所名	じゃんけんぼん
所在地	松山市古川北3丁目12番29号
自己評価作成日	平成21年7月17日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年9月17日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者様が入居される前と同様に馴染みの生活が送れる様、環境を整えている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

2ヶ月毎にホーム便りを発行し、写真を採り入れ利用者の様子を報告されている。又、面会時間について「土曜の昼食後は職員も一緒にゆっくりお話しができる」ことを伝えておられる。運営推進会議の案内をご家族個々順番にされて、会議時には要望や希望をうかがっておられる。ご家族からの希望もあり、ユニットの入口に職員の顔写真入りネームプレートを設置された。年1回、納涼祭時には、ユニットごとに家族会を開催されている。

近所には飲食店が多く、時々外食や喫茶店でお茶を楽しまれている。「雲の上ミュージアム」で開かれたお琴の演奏会を聞きに出かけられたり、今後、利用者の希望で温泉に出かける予定となっていた。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. <b>毎日ある</b> 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. <b>利用者の1/3くらい</b> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目：30,31)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームじゃんけんぽん

(ユニット名) チョコユニット

記入者(管理者)

氏名 今村タマキ

評価完了日

平成21年7月17日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 理念に基づき日々利用者が安らぎのある生活を営めるよう、職員一同日頃より相談しあって、努力している。	さらに、事業所が目指すことをすべての職員で共有してケアを実践できるよう、管理者は日々の中でも理念を語り、職員を牽引していかれてほしい。
			(外部評価) 「ひとりひとり尊重され 健康で安全と自由があり お互いに支えあいながら 明るく楽しく生活ができる やすらぎの家」という理念のもと、前回の外部評価実施後には、「家庭の延長として、社会と遮断されることなく、地域との交流を深めていく」ことを話し合われた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域との交流は少ない状況である。	今後、さらに地域との関係を深めていけるよう、日常的に地域の方々と交流できるような機会を増やしていかれてはどうだろうか。運営推進会議の機会等でもアイデア等を話し合い、取り組みをすすめていかれてほしい。
			(外部評価) 門扉を開放することで、地域の方が「見学させてください」と来られることが増えている。事業所で行う「納涼祭」の案内を職員が配られたり、町内会の協力を得てチラシを貼り出してもらおう等、年々参加者が増えてきている。地域の秋祭りには、事業所を休憩場所に使っていただけるよう、「トイレを使ってください」と看板を立てることも計画されていた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 取組が出来ていない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	(自己評価)	<p>運営推進会議を活かしきれていない。</p>
			(外部評価)	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くよう に取り組んでいる</p>	(自己評価)	<p>市や包括との情報交換程度に止まっている。</p>
			(外部評価)	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準にお ける禁止の対象となる具体的な行為」 を正しく理解しており、玄関の施錠を 含めて身体拘束をしないケアに取 組んでいる</p>	(自己評価)	<p>職員全体で身体拘束はダメだとい うことは理解しているが、安全確保 のためどうしても必要な時は、最 低限の対処は行っている。</p>
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)	
			勉強会などはできていないが、日々のケアの中で職員同士で注意をしあって、虐待防止に努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)	
			推進会議のテーマで話し合ったことがあるが、活用までは至っていない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	
			介護支援専門員が担当し、十分に理解納得していただいている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)	
			ご家族様の来所時に要望を打診し、意見などがあった場合は要望に沿えるように職員全員で努力している。	
			(外部評価)	2ヶ月毎にホーム便りを発行し、写真を採り入れ利用者の様子を報告されている。又、面会時間について「土曜の昼食後は職員も一緒にゆっくりお話しができる」ことを伝えておられる。運営推進会議の案内をご家族個々順番にされて、会議時には要望や希望をうかがっておられる。ご家族からの希望もあり、ユニットの入口に職員の顔写真入りネームプレートを設置された。年1回、納涼祭時には、ユニットごとに家族会を開催されている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			リーダー会で各ユニットより職員意見の聞き取りが行われている。	
			(外部評価)	
			毎月のユニット会で職員は意見を出し、職員から出された意見をリーダー会で話し合っておられる。職員のケアのアイデアを他ユニットでも採り入れる等、ユニット間でも話し合われている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			ユニットの状況把握と、個人の役割認識に対する評価により処遇面の配慮がある。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			代表者が職員の勤務実績を見て、随時計画的に研修会への参加を実施している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			あまり同業者との交流は出来ていない。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			利用者様の日々の生活パターンの中から本人様の困っている事や要望を、コミュニケーションをとりながら、リビングや居室で聞き取りをするよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族様が気軽に不安なことや要望を言えるように、日頃よりコミュニケーションをとっている。信頼関係はとれていると思う。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人様、ご家族様、スタッフがその都度集まり話し合いを持つようにして、次のケアに活かせるようにしている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人様が参加できることを見つけ出し、日常生活の中で作業を一緒にして頂き、生きがいを見つけお互い支え合いながら生活できている。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族様と共に、本人を支えていくような関係はまだ少ないように思う。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>良い関係が途切れないよう努力はしているが、十分ではないと思う。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>以前から兄弟で外食を楽しまれている利用者がある。又、知り合いの方に会いに行かれた方もいる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)  現在はとてもよい関係にあると思われます。それが壊れないように気を付け、日々努力している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)  今までは終了した場合、継続的な関わりを持った事例がない。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)  本人様の意向に添えるようなケアプランの作成をし、実行出来る様努力している。  (外部評価)  職員の気付きや知り得た情報は、職員同士が口頭やメモ等で伝え合うようにされている。	    さらに、利用者の全体像をよく知るためにも、アセスメントの充実が期待される。利用者個々の思いや意向の把握に努め介護計画に採り入れ、日々のケアにつなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)  ご本人様からの聞き取り、面談記録、ご家族様のお話を聞き情報の収集に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)  健康状態は朝のバイタルチェックを参考にしている。また、精神面も考え一人ひとりに合った声かけをしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			チームで話し合いケアプランの作成をしているが、事前のご家族様の参加は出来ていない。作成後に目を通して頂き意見を求めることしかできていない。	
			(外部評価)	
			ご本人の希望や職員の日々の気付き等を話し合い、介護計画を立てておられる。ご家族には、計画について内容を確認いただき、ご意見をうかがうようにされている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			利用者様ごとのケース記録を記入し職員、家族様が見られるようにしている。	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			施設で行える要望には応じている。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			対応しきれていない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	(自己評価)	
			<p>利用者様かかりつけの医師の往診、定期受診をして頂 き、その都度医師の指示を受けて対応に当たってい る。</p>	
			(外部評価)	
			<p>これまで掛かっていた病院に、入居後も通院できるよ う支援されている。ご家族が通院に付き添われる場合 には、事業所から日頃の様子を伝え、受診結果を教え ていただくようにされている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	(自己評価)	
			<p>日頃より利用者様の健康状態に注意を払い、気付いた ことには看護師に相談し指示を仰いでいる。</p>	
			(外部評価)	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	(自己評価)	
			<p>入院時には職員が付き添い、現状を説明し、早期退 院になるようお願いし、退院時には病院での様子を聞 き取り、今後の注意点等の指示を願いケアにあたっ ている。</p>	
			(外部評価)	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>かかりつけ医が24時間体制で、異変があれば随時対 応していただけるようになっている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>状態変化に応じてご家族等と、今後のことについて話 し合いながら支援されている。</p>	<p>「事業所で最期まで見てもらいたい」と希望されるご 家族もあり、さらに、重度化や終末期に向けた方針に ついてご本人ご家族と話し合われたり、事業所でも体 制作り等、「事業所のできることに」について、職員で 話し合うような機会を作っていかれてほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)  マニュアルを作成しており、急変時に対応できるようになっている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)  定期的な避難訓練を行っている。  (外部評価)  8月に実施された避難訓練では、自力歩行できる利用者と車椅子を利用されている利用者が参加された。運営推進会議時、地域の方より「救助の際、どのような協力をしたらよいか指示してほしい」というご意見もいただき、市の担当者から「役割分担することが望ましい」とアドバイスをいただいた。	今年度、2度目の避難訓練は、消防署の協力を得て夜間を想定して実施する予定となっていた。今後、避難訓練にも地域の方に声かけし、参加していただけるよう、お願いしていきたいと考えておられた。
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)  利用者様一人ひとりの性格などを把握し、長い人生経験者として敬い、目線を合わせた話しかけや言葉遣いに注意を払っている。  (外部評価)  ご本人の状態もあり、職員が目が行き届くようにご家族とも相談して、スタッフルームにベッドを設置して過ごしてられる利用者がおられる。	スタッフルームの環境について、職員が目が行き届くが、ご本人のプライバシーの確保の点から配慮が必要ではないだろうか。職員で話し合われてみてはどうだろうか。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)  出来るだけスタッフとゆっくり話せる時間をとり、良く話を聞いた上で優しくゆっくり説明し、納得していただけるような安定した生活が送れるよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	好きな場所で好きなことを行い、自由なおしゃべりで自己表現が行える場所の提供に注意をした対応を行っている。
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	美容院は月に1回来所してもらい、利用者様の希望により対応を行っている。
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	食事中に音楽をかけるなど、リラックスできる環境を作っている。又、出来る方には、一緒に片付けなどもして頂いている。
			(外部評価)	
			利用者の希望を聞きながら、職員が1週間ごとに3ユニット共通の献立を立てておられ、各ユニットで調理を分担して作っておられる。調査訪問時、利用者と職員で協力して餃子作りをされていた。食事時には利用者にお聞きして、餃子を食べやすく切っておられた。ご自分の食器を下げられる利用者の様子も見られた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	利用者様一人ひとりを把握し、食べる量や水分量のチェックは必ずし、少ない方には声かけを行い摂取して頂いている。
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	毎食後必ず口腔ケアを行っている。出来る方にはして頂き、仕上げは必ず職員が行っている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	排泄チェック表を利用し一人ひとりに合わせたトイレ誘導を行っている。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	排泄チェック表を利用し、排便のチェックは毎日行っている。野菜や果物の摂取を行い、運動も取り入れている。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	入浴時間は体調をみながら行っているが、入浴の時間帯は職員に合わせている。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	昼夜逆転による夜間不眠などは、無理のない程度で日中活動するように声かけを行っている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)  服薬などは看護師が行っているが、職員も理解している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価)	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価)  日常生活で出来ることはスタッフと一緒にやっている。	
			(外部評価)  近所には飲食店が多く、時々外食や喫茶店でお茶を楽しまれている。「雲の上ミュージアム」で開かれたお琴の演奏会を聞きに出かけられたり、今後、利用者の希望で温泉に出かける予定となっていた。	今後、事業所では利用者個々の行ってみたい所を探り、出かけてみるような取り組みをすすめていきたいと考えておられた。又、ご家族とも相談して、利用者の体調やご希望も聞きながら、日常的に日向ぼっこ等、外気に触れる機会を増やす取り組みもすすめていかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)  ご家族様と相談し、小額は持ってもらっている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)  手紙については職員が投函をし、電話については事務所で話せるよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	無駄な物を置かず、利用者様が集まりやすい場所を作っている。	
			(外部評価)		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	話し合う人同士の席の配慮を行っている。	
			(外部評価)		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	使い慣れた家具等を居室で使用している。	
			(外部評価)		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	利用者様自身の出来ることは、見守りや一部介助にしている。	
			(外部評価)		